

「DX銘柄2020」に認定

JFEホールディングスは、グループ全体の競争力を強化し、企業価値を中長期的に向上させるため、戦略的なIT投資を積極的に推進しており、経済産業省と東京証券取引所が共同で発表する「攻めのIT経営銘柄」、さらに2020年より継承された「DX銘柄」に6年連続で選定されています。

「DX銘柄」はデジタル技術を前提としてビジネスモデルを抜本的に変革することで、新たな成長や競争力の強化を実現する「デジタルトランスフォーメーション(DX)」に焦点を当てたものであり、当社もこれまで同様にDXを積極的に推進していきます。

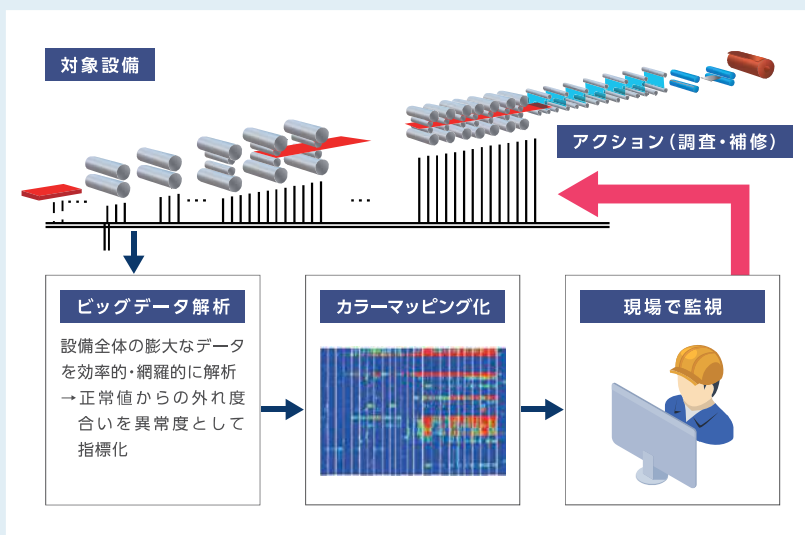


DXの取り組み紹介

鉄鋼事業 ビッグデータ・AI活用による設備異常予兆監視

製鉄業では長期稼働設備の割合増加により、従来発生しなかった想定外のトラブルの発生が増えつつあり、それに対する異常予兆監視システムの構築が課題となっていました。

多種多様な機器や計器から構成される設備の監視対象項目は数百以上と膨大になりますが、それらの関係性を効率的・網羅的に解析し、異常度合いの経時変化をマップ化し、製造現場で容易に閲覧できるようにしました。異常度が高くトラブルの恐れのある部分に対し適切な補修等の対策を講じることにより、異常発生を未然に抑止でき、設備稼働率の向上が可能となります。



エンジニアリング事業 技術・ノウハウ×データ×最新IT技術で新時代の「担う」を具現化

河川水位予測情報 配信サービス

独自開発した人工知能「WinmuSe」を用い、将来の河川水位を高精度かつリアルタイムに予測・配信するクラウドサービスを構築。既に国内20か所以上で導入されており、今後さらなる利用拡大を目指します。

廃棄物発電プラントの自動運転

燃焼状態のAI画像解析と、熟練オペレータの手動操作のシステム化による世界で初の焼却炉自動運転AIシステム「BRA-ING」は既に実用段階となり、2021年度に10施設へ拡大することを予定しています。

